

湘南浦高会通信 第13号

2021年11月 1日

<ごあいさつ>

湘南浦高会会長 平井隆一

コロナ禍が続いて早2年近くが経ちましたが、湘南浦高会会員の皆様には如何お過ごしでしょうか？

今では3密回避やマスク着用の徹底、ワクチン接種が進んだことも相俟って、新規感染者数が劇的に減っていますが、この冬場にかけて第6波が懸念されているように、警戒はまだ緩めることはできない状況だと判断しております。

私達は昨年2月以来、不要不急の外出、大勢の人との接触は極力避けて参りましたので、例年6月に開催しておりました湘南浦高会総会も2年続きで中止となりました。

この間、コロナ禍の第2波が下火になった昨年秋に有志でゴルフコンペをリアルで開催しました。幹事会は今年の年明けにZoomによるオンラインで実施し、「コロナ禍の真只中のため少し下火になるまで静観」という方針を決めましたが、その後はご承知のように第3波、第4波、第5波のため、全く動くことができないままでした。

漸く9月に再度幹事会をオンラインで実施して、来年の総会(2022年6月開催予定)までの期間についての活動方針、活動案について議論し、下記のように提案させていただきます。

遅ればせながら、皆様のご了解をいただきたいと思っております。

【2021年度活動方針】(2021年11月~2022年5月)
引き続きコロナ禍は継続すると思われませんが、例年と同様に次の項目について推進します。

- (1) 地域同窓会組織の確立
- (2) 会員相互のコミュニケーション活動
- (3) 本部、他地区同窓会との連携

リアルの集まりはできないので、書面(湘南浦高会通信)やオンライン(Zoom)を活用して、会員相互のコミュニケーションの促進に務めます。具体策としては、湘南浦高会通信の発行頻度を高め、会員からの投稿を呼びかけ掲載する。また、オンライン懇親会を開催するなどして、会員相互のコミュニケーションを図っていきます。

【2021年度活動案】(2021年11月~2022年5月)

- (1) 総会の開催：今年度の総会はコロナ禍により中止。今後は2022年の総会の開催準備。
- (2) 役員会の開催：適宜、役員間の懇親およびイベント準備。オンライン会合も利用する。
- (3) 会員交流イベントの開催：コロナの状況を見ながら実施を判断して行きます。
 - ・ゴルフコンペ：状況を見て来春に開催
 - ・ハイキング、散策等：状況を見て来春に開催
- (4) 会員相互のコミュニケーションの推進
 - ・「湘南浦高会通信」の発行：会員からの投稿を呼びかけて、原稿が集まり次第タイムリーに発行する。
 - ・懇親会の開催：当面はオンライン懇親会の開催。とにかく実施してみる。
- (5) 地域・職域同窓会責任者会議への出席
- (6) 他地区との交流を促進(含む湘南高校同窓会)
 - ・春日部地区同窓会の会報「喫茶去」は継続配信。
 - ・湘南高校同窓会との関係を構築
- (7) 地域貢献・ボランティア活動
 - ・どのような貢献が可能かを模索し実施に移すべく検討したい。

☆ ☆ ☆ ☆

お願い・今後のスケジュール

<お願い>

- ・湘南浦高会通信で皆さんの近況を報告したいと考えておりますので、是非投稿をお願いします。(1,000文字以内、写真1枚あると尚可)大出宛にお送りください。
- ・平井会長を本部同窓会の代議員(2022年から2年間に推薦するため、20名の推薦人が必要です。後日ご案内しますので、ご協力をお願いします。

<今後のスケジュール>

- ・オンライン懇親会 (Zoom)
 - 第1回 11月26日(金) 20:00~22:00
 - 第2回 1月28日(金) 20:00~22:00
 - 第3回 2月25日(金) 20:00~22:00
 - 第4回 3月25日(金) 20:00~22:00
- *第1回は近況報告、第2回以降はテーマを決めて実施したいと思います

その他のイベントは決定次第ご案内します。
皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

<2020 年度の活動を振りかえって>

第 5 回ゴルフコンペ

原田 洋 (21 回)

湘南浦高会のゴルフコンペは毎年 2 回実施されてきましたが、新型コロナウイルスのため 2020 年春のコンペが中止となりました。秋のコンペはコロナ禍の間隙を縫って 11 月 12 日に湯河原カントリー倶楽部で開催しました。

当日は曇り空で冷たい北風が吹く寒い日でしたが、参加の 7 名が元気いっぱいスタートしました。ところが、湯河原カントリー倶楽部は知る人ぞ知るアップダウンの激しい山岳コース、打ち下ろしと打ち上げのホールばかりで、フェアウェイも平らなところが少なく、しかも左右の曲がりもショートもオーバーも許されないため、全てのショットは緊張を強いられ、体力ばかりか神経も消耗させられた 1 日でした。



榎本孝雄、梅本慶三、大出佳和、花俣和男 (後列)

原田 洋、野原輝夫、平井隆一 (前列) 敬称略

あるホールでは壁のような急斜面の上にグリーンがあり、5 m (通常の 2 倍の長さ) もの長いボールの先に旗がついていた。斜面の下のプレイヤーからピン位置が見えるように工夫されていたのである。このことからあらためてこのコースの高低差が尋常でないことが分かって頂けると思います。

湯河原カントリー倶楽部は、1955 年開場で石造りのドーム型をした食堂など格式高い雰囲気があり、また海に向かってティショットを打てる、眺望満点のホールもありますので、ゴルフを優雅に楽しむことができる人には素晴らしいゴルフ場なのですが、小心者の私は、ニアピン賞やドラコン賞のホールも意識する余裕もなく、ただボールを谷に落とさないようビクビクしながらショットしていました。ニアピン賞を 3 つも取

った人や 230Y のドラコン賞を獲得した人もおり、自分の未熟さを改めて知らされた 1 日でした。

☆ ☆ ☆ ☆

<役員から 近況報告>

在日ベトナム人の駆け込み寺訪問記

会長 平井隆一 (21 回)

過日、「ベトナムが第 2 の故郷」とおっしゃる 81 歳の方に連れられて、埼玉県本庄市にある「大恩寺」にティック・タム・チー尼を訪れました。



ティック・タム・チー尼 (ネットから引用しました)

彼女は 20 年前に仏教の勉強で来日し、芝増上寺にある「日新窟」で修業をされ、3 年前にこの「大恩寺」に移って住職をされています。この「大恩寺」は近年話題になっている困窮したベトナム人技能実習生や留学生の駆け込み寺として、昨年 12 月に NHK の「クローズアップ現代」に採り上げられ一躍有名になったお寺です。

一時は 80 人以上のベトナム人がお世話になっていたようですが、その NHK の報道がきっかけで全国の企業や民間団体から支援の手が差し延べられて、全国 55,000 人から 151 トンのお米が寄付されたそうです。以来、支援による就職が決まったりしたので現在では 15 名ほどが寝起きしているそうです。その 15 名のうち殆どが近所の農家にお手伝いに出ていて、皆一所懸命働いてお寺を助けていました。現在日越間のフライトも少なく、コロナ禍が収束後に帰国するのを心待ちにしている若者ばかりです。

東京駅から新幹線「あさま」で本庄早稲田駅へ。そこからタクシーで約 8 km 離れたところにあるお寺へ。さすがに困窮したベトナム人がこのお寺までなかなか辿り着けないので、東京・綾瀬市に「東京大恩寺」を建設中で、来年の完成の暁には沢山のベトナム仏教の

信者は勿論、駆け込み寺としても大いに期待されるとのお話をタム・チー尼はしてくれました。

私をタム・チー尼に紹介して下さった 81 歳の方は、元々建築家で若い頃にたまたま医療関係の援助事業に関わったことをきっかけに、一転ベトナム各地の都市計画に長年関わって来たそうです。私があるベトナムのプロジェクトで長期に居住した地方都市の拡張計画を造ったことのご縁から、ご一緒に頂く次第になりました。

つい最近の話題で、タム・チー尼の親友で有名なベトナム人歌手「ファム・フイー・ニユン」さん (52 歳) が 9 月末にホーチミンで亡くなったそうで、大変悲しんでおられました。位牌も飾られていました。位牌と言えばお寺の祭壇には故郷から遠い日本で本意ながら命を落とした若者の 100 柱もの位牌と、帰国を待つ 2 つの骨壺が安置されていました。

これ以上ベトナムの若者が命を落とさないよう、残されたベトナム人技能実習生や留学生が本来の目的を達成し、胸を張って故郷に帰れるよう祈りを捧げて、お寺を後にしました。



「大恩寺」の食物倉庫。一時はここに 151 トンものお米が全国の善意の方々から届けられた。

以上

近況報告

副会長 鶴塚 芳夫 (21 回)

ご無沙汰しております。

コロナ禍の中、皆様元気に過ごされていることと伺います。ワクチン接種の予約に 2 台の携帯を使い 2 時間弱かけ続け漸く家族も含め予約することが出来、9 月末までに注射も 2 回終了し、少しほっとしているところです。

私の特筆する最近の出来事といえば、1 年前の昨年 11 月に娘に双子が生まれたことです。遅い結婚のため孫についてはほぼ諦めていたので、双子それも男と女の子の双子とは「良くやった」と思わず声が出てしまいました。その時点では、40 年余り前の記憶など薄れていて、良かったことばかりが思い出され表向きは「大変だよ」とはいったものの何とかなるさと安易に考えておりました。



ところが生まれて 2 週間が経ちよいよ双子の赤ちゃんが戻ってきました。40 年前の体力も気力も人生で一番の時期の実績から、私の分担が決まりました。この時もまだ、毎日鍛えてもいない爺が飲み終わるまで 30 分かかかる授乳が 3 時間ピッチで 24 時間繰り返されることを安易に考えていました。

初めは良いところを見せようと少しオーバーペース気味でスタートしました。2,500Kg 前後とは言え 1 回 30 分も抱きかかえているのはじわじわと肩や腰に効いてきました。2 か月もすると以前から引き摺っている腰痛の悪化のため、立って抱っこは足に力が入れないのであきらめて、座って哺乳瓶を持って授乳することのみとなりました。今は生後 1 年近く過ぎ体重も 10Kg 前後と重くなりなかなか抱っこは勇気がいります。

コロナ禍と猛暑のため体を鍛えることができませんでしたが、気候の良い 10 月から週 2 回トレーニングジムに通っております。だらだらと何を書きたいのかまとまりがありませんが、孫が可愛い爺バカの戯言とお許しください。

湘南浦高会ではイベント担当をしており、過去はお酒関連の工場見学を実施してきました。

2017 年 キリンビール 横浜工場

2018 年 アサヒビール 神奈川工場

2019 年 熊沢酒造 酒蔵

コロナ禍のため実施できないでいますが、状況が好転すれば再開したいと考えておりますので、「行ってみたい」「行くとよい」などの情報がありましたらご連絡いただくと幸いです。

コロナ禍に加え、そろそろインフルエンザの季節が近づいております。皆様お体を大切に!!

以上

コロナ禍での自粛生活

～ オンライン飲み会を楽しむ ～

監事 原田 洋 (21回)

新型コロナウイルス騒動もまもなく2年になります。その間、外出や会合をはじめ飲食店での飲み会なども控えなくてはならなくなり、多くの湘南浦高会の会員の方々にとって「我慢」の2年間であったのではないかと思います。私の場合は、「オンライン飲み会」を積極的に利用して「自粛生活」を楽しんでいると思っており、手前みそですが私の「オンライン飲み会」について紹介させていただきます。

当初は、元の会社の仕事仲間6人(A)で始めました。そのうち登山仲間5人(B)と、さらに某大学の公開講座を受講していた仲間7人(C)の3つのグループができ、それぞれ毎週1回実施しています。メンバーは全て70歳以上の男性ばかりです。

オンライン飲み会はただ雑談するだけではマンネリ化するため、構成メンバーの嗜好傾向からそれぞれ異なるテーマを設定して行っています。(A)では各自が身の回りの出来事や発見を写真やビデオで紹介(家庭菜園の状況報告や相談、自治会活動、散歩で見つけた珍しい風景や草花など)。(B)では各自の関心事を資料で紹介(登山歴、自作の料理、時事問題など)。

(C)では読んだ本の紹介(読んだ本を紹介する資料を作り事前配信し、意見や感想を交換する)して、それをネタに、みんなでおしゃべりしています。

月に1,2度のプレゼンに備えて、新しいネタ探し、資料作成および仲間からの資料を見てコメントする作業もあり、飲み会のない日でもデスクワークが増えました。

*参考までにオンライン飲み会で心がけることは、

- ① 人の話をよく聞く。
- ② 反対意見はよいが人格否定しない。
- ③ 知識だけでなく自分の体験や感想を述べる。
- ④ 正解や結論を導き出そうとしないなど。

*オンライン飲み会のメリットをあげるとしたら、

- ① 自分からは読まないであろうと思われる分野の本を紹介してもらうため、視野が広がる。
- ② 新しく知り得たことは人に話したくなり、また人はどう思うのか聞くのも楽しい。
- ③ 居酒屋での飲み会より安上がりで、電車で帰宅する必要がない。
- ④ 一緒に仕事をしてきた仲間の、職場では見られなかった面に触れることができる。
- ⑤ 読んだ本の概要を資料にまとめる必要から、丁寧に読むため読書の質が向上する。

直接顔を合わせての飲み会ができる日が待ち遠しいと思う反面、オンライン飲み会も悪くないと感じています。以上



オンライン飲み会の使用済みの資料

コロナ禍での近況報告

会計 吉田 学 (23回)

会員の皆様お元気ですか？

昨年のコロナ騒ぎから約2年近くになろうとしています。この間、湘南浦高会の活動もほぼ休止状態となり、非常に歯がゆい思いをしているのは私だけではないと思います。ワクチン接種や緊急事態宣言下での自粛などの成果もあり、感染者の減少傾向が続いてはいるもののまだまだ油断できないところです。

さて、10月1日からは緊急事態宣言が解除されましたが、コロナ禍での近況を少し報告したいと思います。

2019年10月に藤沢市内にある福祉関係の某法人に縁あって採用されましたが、コロナ禍等の影響や健康不安なども考慮し、2021年4月に退職しました。その後、他市の非常勤職員、NPO法人や他同窓会・OB会、町内会の役員としてコロナ禍での一定の制約はあるものの、微力ながら活動しております。とは言っても

コロナ禍では自宅で過ごす時間も以前より多くなり、妻と二人だけの生活には限界があると思います（本音を言うと家にはいられない状況で…）、現在、藤沢市主催事業で特に関心のある分野においてボランティアとして登録もしております。

また、趣味としてスポーツジム通いのほか、新たに「クロスワードパズル解き」にチャレンジしております。ボケ防止と言いたいところですが、妻に言わせると「暇だからやっているんでしょ。家の仕事も手伝って…」と相成ります。しかしながら、私にも言い分があります。朝食の準備はほとんど毎日妻と一緒に、昼食は毎日自分一人で料理し、買い物、掃除や雑用等もしているんです。いけない、いけない、巣ごもりおやじの愚痴になってしまいました。

ここで話題を変えて、息子が湘南高校 OB ながら海外駐在のため、先日、自宅に湘南高校同窓会の会報（湘友会報）が届きました。その内容を少し紹介しますと、母校と湘友会のあゆみ、湘南の今昔、開校 100 周年記念事業の一環として湘友会奨学財団（浦高同窓会奨学財団とほぼ同様）の設立経過、湘南高校卒業生で著名な方々の手記、浦高戦の思い出などが記載されていました。（最終ページの資料参照）湘南浦高会でも、湘南高校開校 100 周年記念事業の際は、何らかの形で関われないかと模索しておりましたが、コロナ禍に遭遇してしまい非常に残念に思います。

結びになりますが、コロナ禍の一刻も早い終息と普通の日常生活に戻ることを願いつつ、会員の皆様との再会を祈念し、近況報告といたします。皆様、健康には十分留意されお元気です!!

以上

損害保険担当から交通事故時のアドバイス

幹事 吉田正敏 (31 回)

海上自衛隊を定年(55 才)退職した後の再就職で、JA 共済連の嘱託社員として自動車共済(保険)の対人担当の仕事をしています。ご参考までに、交通事故に遭った/起こした場合のアドバイスを何件かご紹介します。

① 事故に遭ったらとにかく被害(損害)立証
けがをした場合、救急搬送で治療を受けた際など治療費立替になることが多いです。領収書(治療費、タクシー代、駐車場代など)はとにかく取っておいてください。事故に関連した出費の全てが賠償対象にはならないこともありますが、念のため。(対人賠償では、①

治療費②通院交通費③休業補償(会社や法人の役員は原則対象外、無職・年金生活、生活保護者は対象外)
④慰謝料(通院期間:事故日から最終通院日までと通院頻度で算定されます)

② 事故を起こしたら任意保険会社へ連絡

警察(併せて救急)への連絡とともに保険会社へ電話。事故受付、初動アドバイスを受けてください。事故現場で相手へ金品を渡す(立替える)ことは避けてください。(立替えた場合は領収書など書類を残すこと。)

③ 過失について(参考まで)

止まっている車に追突、センターラインオーバー、赤信号無視は 100 対 0 となりますが、そのほかの場合は、少なからず双方に責任割合が発生します。公刊されている「判例タイムズ」で事故態様により過去の裁判事例に基づく過失割合が記載されています。歩行者の場合、横断歩道(信号あれば青信号)歩行中は 100 対 0 で無過失、自転車の場合は自転車横断帯(信号あれば青信号)なら 100 対 0 の無過失となりますが、横断歩道でも責任割合が発生します。対人賠償の場合(どちらか過失割合の高いほうの保険会社(共済)が対応)、自賠責基準内では過失減額はありませんが、任意(弁護士委任の場合含む)の場合は過失減額が発生します。対物賠償(過失割合が双方にある場合は双方の保険会社(共済)で対応、100 対 0 の事故の場合は 100 の方で対応)では過失割が適用されます。

④ 弁護士特約など(被害者としての利用)

慰謝料の算定は、自賠責基準、任意基準(自賠基準と任意基準のどちらが高いかはケースバイケース)、<弁護士基準(弁護士委任した場合、訴訟基準に準じて委任弁護士と保険会社(共済)担当で調整)><訴訟(委任弁護士と保険会社(共済)担当で調整がつかなかった場合)の差があります。なお、不思議(?)なのですが、交通事故での相談窓口になっている紛争処理センター(無料)に持ち込むと、弁護士委任で訴訟基準を訴外減額するのが通例なところが、訴訟基準満額となるケースが最近多いです。

保険(共済)担当から言うのもなんですが、コスパから長期通院があった場合などは、弁護士特約(あれば)を使用(または紛争処理センター持ち込み)したほうがよいでしょう。

以上

編集責任者: 大出 佳和 (27 回・事務局長)

発行責任者: 平井 隆一 (21 回・会長)

母校と湘友会のあゆみ

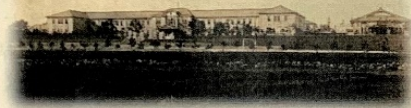
湘南高校 100 周年

1921 年	県立湘南中学校 第 1 学年始業式 教師 6 名 生徒 125 名 (4 月 26 日 授業開始)	2007 年	新入生向け小冊子「秀麗の富士 湘南」創刊
1926 年	第 1 回卒業生 79 名に、前年の 4 年修了生を加えた 86 名を会員として湘友会発足 初代会長に赤木愛太郎初代校長就任	2008 年	県立高校改革により通信制は横浜修悠館高校へ移行 田辺克彦氏 (36 回) 第 7 代湘友会会長に就任
1930 年	プール竣工 (全職員・生徒中心の拠金と勤労奉仕によって完成)	2009 年	創立 90 周年記念事業として校史資料館 (仮称) 建設のための募金活動
1931 年	運動場拡張工事 (湘友会・父兄会中心の拠金と職員・生徒の勤労奉仕により完成)	2010 年	根岸英一氏 (28 回) ノーベル化学賞・文化勲章受賞
1932 年	「湘友会誌」創刊	2011 年	創立 90 周年記念事業実施・名簿発行
1933 年	校歌制定	2012 年	湘南高校歴史館 開館
1939 年	国家総動員法による集団勤労奉仕	2013 年	在校生の第 1 回海外研修旅行実施
1941 年	創立 20 周年記念名簿発行	2014 年	上野 孝氏 (38 回) 第 8 代湘友会会長に就任
1942 年	毎年開催の湘友会総会は戦争のため中止	2018 年	湘友会奨学財団を設立し、奨学金制度を発足
1944 年	学徒動員実施要綱による工場動員	2021 年	創立 100 周年
1945 年	終戦、時に会員は 3180 名を数えるに至ったが、多くの前途有為な人材を戦争により失う		
1946 年	天野武一氏 (1 回) 第 2 代湘友会会長に就任 サッカー部第 1 回国民体育大会で全国優勝		
1948 年	県立湘南高等学校と改称 (6・3・3 制のスタート) 徽章「湘南」、赤・緑・藍の学年別襟章を定める 定時制高等学校ならびに通信教育部が設置される		
1949 年	硬式野球部 第 31 回夏の甲子園大会で優勝		
1950 年	男女共学となる (女子 1 期生 59 名)		
1951 年	創立 30 周年記念事業実施 「湘友会報」創刊		
1954 年	初代校長赤木愛太郎先生胸像除幕式挙行 (制作 東京藝術大学教授・堀 進二氏)		
1957 年	浦和高等学校と定期戦開始 (2002 年まで続く)		
1958 年	校舎火災 (2 月 24 日 本館・付属建物) 母校復興の募金活動を行い、援助公演の純益を寄付 (ダークダックス、松山樹子バレエ団公演)		
1959 年	校歌石碑建立 (校歌詞軍毫 天野武一氏)		
1961 年	創立 40 周年記念名簿発行 新校旗寄贈		
1964 年	通信制部会発足 校歌楽譜寄贈		
1967 年	増田弥太郎氏 (1 回) 第 3 代湘友会会長に就任		
1972 年	創立 50 周年記念名簿発行		
1981 年	定時制部会発足		
1984 年	富岡周吉郎氏 (9 回) 第 4 代湘友会会長に就任		
1990 年	杉山 巖氏 (27 回) 第 5 代湘友会会長に就任		
1993 年	校舎建て替えに伴い、校庭に建てた仮校舎へ移転		
1996 年	校舎落成記念式典挙行 (多目的ホールの諸設備・図書館の書架を寄贈)		
2001 年	創立 80 周年記念事業実施・名簿発行		
2002 年	天野武和氏 (31 回) 第 6 代湘友会会長に就任		
2004 年	新入会員向け小冊子「秀麗の富士 湘南」創刊		
2006 年	第 1 回「青春かながわ校歌祭」参加、主導的な役割		

多難な時代にスタート

湘南中学校の生い立ちは難産であったと言えます。最初の県立中学校が横浜に開校した 1897 年 (明治 30 年) 直後から地元の有志が中学校の誘致に乗り出したものの、実現には紆余曲折があり 20 数年を要しました。世相も明るいものではなく、1918 年第一次大戦は終結したものの、続いてシベリア出兵と米騒動などがあり、そこに国内 39 万人もの犠牲者を出した感染症スペイン風邪の追い打ちがありました。

こうした中、地元の多大な寄付による学校敷地提供が実現し、1921 年ようやく湘南中学は開校にこぎつけたのですが、2 年後今度は大地震に襲われます。死者 10 万人以上を数えた関東大震災です。生徒 3 人、教師 1 人も犠牲になり、3 期計画で増築中の校舎も大破してしまいました。母校の船出は多難な時代でした。



1925 年 (大正 14 年) 完工した初代校舎

楠の大樹

1933 年 (昭和 8 年) 赤木校長が所用で父兄を訪ねたところ、「楠公顕彰会」が楠の旗布をしていることを知らされた。学校は広いので多く引き受けてほしいと、楠木正成生誕の地、河内産の苗木 150 本が寄贈され、校門の両側と校庭に植えられた。校門両脇の 2 本は今日、大木となり湘南を象徴するかのようになつてきている。(湘南 70 周年記念誌より)



成長した楠と 2 代目の校舎

M 先生 (湘南高校卒業生、元同校教諭) の回顧録 「浦高戦」

私が高 2 の時はバスで浦和高校へ移動、教員としてはずっと電車でした。藤沢からふだんはまず通ることのない貨物線などを通り北浦和に到着しました。後年、私が 40 歳の頃、仕事で浦高出身の浦高の先生とご一緒しましたが、ほぼ同年代で浦高戦 (浦高からは湘南戦) の話でとても盛り上がりました。浦高戦がさまざまな理由でなくなったのは残念です。(原文のまま)

【記載資料は、湘友会報第 63 号より抜粋、引用しました。(湘友会事務局の了承済)】